科目名	博物館実習 (FD001410)
英文科目名	Museum Work Training II
担当教員名	徳澤啓一(とくさわけいいち), 高橋亮雄(たかはしあきお)
対象学年	4年
開講学期	通期
曜日時限	火曜日 4時限 / 火曜日 5時限
対象クラス	理学部, バイオ・応用化学科, 機械システム工学科, 電気電子システム学科, 情報工学科, 知能機械工学科, 生体医工学科, 建築学科, 生命医療工学科, 総合情報学部, 生物地球学部, 教育学部, 経営学部
単位数	2.0
授業形態	実験実習

回数	授業内容
1回	実務実習(1) 館種に応じた専門的・技術的な実務に関するものを行う。 (全教員)
2回	実務実習(2) 館種に応じた専門的・技術的な実務に関するものを行う。 (全教員)
3回	実務実習(3) 館種に応じた専門的・技術的な実務に関するものを行う。 (全教員)
4回	実務実習(4) 館種に応じた専門的・技術的な実務に関するものを行う。 (全教員)
5回	実務実習(5) 館種に応じた専門的・技術的な実務に関するものを行う。 (全教員)
6回	実務実習(6) 館種に応じた専門的・技術的な実務に関するものを行う。 (全教員)
7回	実務実習(7) 館種に応じた専門的・技術的な実務に関するものを行う。 (全教員)
8回	実務実習(8) 館種に応じた専門的・技術的な実務に関するものを行う。 (全教員)
9回	実務実習(9) 館種に応じた専門的・技術的な実務に関するものを行う。 (全教員)
10回	実務実習(10) 館種に応じた専門的・技術的な実務に関するものを行う。 (全教員)
11回	館園実習(1) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。 (全教員)
12回	館園実習(2) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。 (全教員)
13回	館園実習(3) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。 (全教員)
14回	館園実習(4) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。 (全教員)
15回	館園実習(5) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。 (全教員)
16回	館園実習(6) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。 (全教員)
17回	館園実習(7) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。

	(全教員)
18回	館園実習(8) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。
	(全教員)
19回	館園実習(9) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。
	(全教員)
20回	館園実習(10) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。
	(全教員)
21回	館園実習(11) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。
	(全教員)
22回	館園実習(12) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。
	(全教員)
23回	館園実習(13) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。
	(全教員)
24回	館園実習(14) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。
	(全教員)
25回	館園実習(15) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。
	(全教員)
26回	館園実習(16) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。
	(全教員)
27回	館園実習(17) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。
	(全教員)
28回	館園実習(18) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。
	(全教員)
29回	館園実習(19) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。
	(全教員)
30回	総括：本講義の学習内容を復習しつつ、「博物館学芸員」の就職事情等の最新事情を講義する。
	(全教員)

回数	準備学習
1回	シラバスを確認し、授業内容を確認しておくこと(標準学習時間60分)。
2回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し(標準学習時間60分)、事前配付資料を読んでおくこと(標準学習時間120分)。
3回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し(標準学習時間60分)、事前配付資料を読んでおくこと(標準学習時間120分)。
4回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し(標準学習時間60分)、事前配付資料を読んでおくこと(標準学習時間120分)。
5回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し(標準学習時間60分)、事前配付資料を読んでおくこと(標準学習時間120分)。
6回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し(標準学習時間60分)、事前配付資料を読んでおくこと(標準学習時間120分)。
7回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し(標準学習時間60分)、事前配付資料を読んでおくこと(標準学習時間120分)。
8回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し(標準学習時間60分)、事前配付資料を読んでおくこと(標準学習時間120分)。
9回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し(標準学習時間60分)、事前配付資料を読んでおくこと(標準学習時間120分)。
10回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し(標準学習時間60分)、事前配付資料を読んでおくこと(標準学習時間120分)。

1 1 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
1 2 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
1 3 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
1 4 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
1 5 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
1 6 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
1 7 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
1 8 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
1 9 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
2 0 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
2 1 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
2 2 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
2 3 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
2 4 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
2 5 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
2 6 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
2 7 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
2 8 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
2 9 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
3 0 回	前回の実習内容を復習するとともに、これまでの実習内容を振り返り、疑問点等を整理しておくこと（標準学習時間180分）。

講義目的	見学を含む学内実習や館園実習での現場体験を通し、多様な館種の実態や学芸員の業務を理解し、実践的能力を養う。（教職・学芸員センター教育課程編成・実施の方針Mにもっとも強く関与）
達成目標	1．学内実習〔見学実習（多様な館種の実態理解）、実務実習（資料の取り扱い、展示、博物館運営等の実務習得）、事前・事後指導（実習全体の指導、館園実習に関する指導）〕 2．館園実習（博物館における実務体験） 以上についての実習を行い、その理解を深める。
キーワード	授業内容に記載
成績評価（合格基準60	「館園実習簿」の記載（50%）及びレポート（50%）により成績を評価し、総計で60%以上を合格とする。なお、博物館学芸員課程の最終段階である「博物館実習」において、履修生は、外部の博物館で館園実習を行う。館園実習では、勤務態度及び来館者への接遇に関する資質が厳しく問われるため、本講義の可否に関しては、平素の受講態度に関する教員及び「館園実習」担当者の所見を重視する。
関連科目	博物館学芸員関連科目
教科書	新時代の博物館学 / 全国大学博物館学講座協議会西日本部会編 / 芙蓉書房出版 / ISBN9784829505519
参考書	講義中、適宜、指示する。
連絡先	徳澤啓一研究室（D2号館4階） 高橋亮雄研究室（B2号館1階） curator_ous@outlook.jp
注意・備考	履修制限科目。履修制限に関しては、『教職・博物館学芸員課程履修の手引き』を参照すること。止むを得ない事情で欠席する場合は、正当な事由を明記し、これを証する者が記名・押印した文書を事前に提出すること。講義資料は講義開始時に配布するものとMomo-campus で配布するものがある。なお、特別な事情がない限り、前者は、後日の配布、後者は、ダウンロード期間

	終了後の配布には応じない。講義中の録音/録画/撮影は原則認めない。特別の理由ある場合事前に相談すること。講義中に課した提出課題に関しては、博物館学芸員関連科目の中の適切な単元においてフィードバックを行う。
試験実施	実施しない

科目名	博物館実習 (FD00X410)
英文科目名	Museum Work Training II
担当教員名	徳澤啓一(とくさわけいいち), 高橋亮雄(たかはしあきお)
対象学年	4年
開講学期	通期
曜日時限	金曜日 4時限 / 金曜日 5時限
対象クラス	理学部, バイオ・応用化学科, 機械システム工学科, 電気電子システム学科, 情報工学科, 知能機械工学科, 生体医工学科, 建築学科, 生命医療工学科, 総合情報学部, 生物地球学部, 教育学部, 経営学部
単位数	2.0
授業形態	実験実習

回数	授業内容
1回	実務実習(1) 館種に応じた専門的・技術的な実務に関するものを行う。 (全教員)
2回	実務実習(2) 館種に応じた専門的・技術的な実務に関するものを行う。 (全教員)
3回	実務実習(3) 館種に応じた専門的・技術的な実務に関するものを行う。 (全教員)
4回	実務実習(4) 館種に応じた専門的・技術的な実務に関するものを行う。 (全教員)
5回	実務実習(5) 館種に応じた専門的・技術的な実務に関するものを行う。 (全教員)
6回	実務実習(6) 館種に応じた専門的・技術的な実務に関するものを行う。 (全教員)
7回	実務実習(7) 館種に応じた専門的・技術的な実務に関するものを行う。 (全教員)
8回	実務実習(8) 館種に応じた専門的・技術的な実務に関するものを行う。 (全教員)
9回	実務実習(9) 館種に応じた専門的・技術的な実務に関するものを行う。 (全教員)
10回	実務実習(10) 館種に応じた専門的・技術的な実務に関するものを行う。 (全教員)
11回	館園実習(1) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。 (全教員)
12回	館園実習(2) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。 (全教員)
13回	館園実習(3) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。 (全教員)
14回	館園実習(4) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。 (全教員)
15回	館園実習(5) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。 (全教員)
16回	館園実習(6) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。 (全教員)
17回	館園実習(7) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。

	(全教員)
18回	館園実習(8) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。
	(全教員)
19回	館園実習(9) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。
	(全教員)
20回	館園実習(10) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。
	(全教員)
21回	館園実習(11) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。
	(全教員)
22回	館園実習(12) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。
	(全教員)
23回	館園実習(13) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。
	(全教員)
24回	館園実習(14) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。
	(全教員)
25回	館園実習(15) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。
	(全教員)
26回	館園実習(16) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。
	(全教員)
27回	館園実習(17) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。
	(全教員)
28回	館園実習(18) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。
	(全教員)
29回	館園実習(19) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。
	(全教員)
30回	総括：本講義の学習内容を復習しつつ、「博物館学芸員」の就職事情等の最新事情を講義する。
	(全教員)

回数	準備学習
1回	シラバスを確認し、授業内容を確認しておくこと(標準学習時間60分)。
2回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し(標準学習時間60分)、事前配付資料を読んでおくこと(標準学習時間120分)。
3回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し(標準学習時間60分)、事前配付資料を読んでおくこと(標準学習時間120分)。
4回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し(標準学習時間60分)、事前配付資料を読んでおくこと(標準学習時間120分)。
5回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し(標準学習時間60分)、事前配付資料を読んでおくこと(標準学習時間120分)。
6回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し(標準学習時間60分)、事前配付資料を読んでおくこと(標準学習時間120分)。
7回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し(標準学習時間60分)、事前配付資料を読んでおくこと(標準学習時間120分)。
8回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し(標準学習時間60分)、事前配付資料を読んでおくこと(標準学習時間120分)。
9回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し(標準学習時間60分)、事前配付資料を読んでおくこと(標準学習時間120分)。
10回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し(標準学習時間60分)、事前配付資料を読んでおくこと(標準学習時間120分)。

1 1 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
1 2 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
1 3 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
1 4 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
1 5 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
1 6 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
1 7 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
1 8 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
1 9 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
2 0 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
2 1 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
2 2 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
2 3 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
2 4 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
2 5 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
2 6 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
2 7 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
2 8 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
2 9 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
3 0 回	前回の実習内容を復習するとともに、これまでの実習内容を振り返り、疑問点等を整理しておくこと（標準学習時間180分）。

講義目的	見学を含む学内実習や館園実習での現場体験を通し、多様な館種の実態や学芸員の業務を理解し、実践的能力を養う。（教職・学芸員センター教育課程編成・実施の方針Mにもっとも強く関与）
達成目標	1．学内実習〔見学実習（多様な館種の実態理解）、実務実習（資料の取り扱い、展示、博物館運営等の実務習得）、事前・事後指導（実習全体の指導、館園実習に関する指導）〕 2．館園実習（博物館における実務体験） 以上についての実習を行い、その理解を深める。
キーワード	授業内容に記載
成績評価（合格基準60	「館園実習簿」の記載（50%）及びレポート（50%）により成績を評価し、総計で60%以上を合格とする。なお、博物館学芸員課程の最終段階である「博物館実習」において、履修生は、外部の博物館で館園実習を行う。館園実習では、勤務態度及び来館者への接遇に関する資質が厳しく問われるため、本講義の可否に関しては、平素の受講態度に関する教員及び「館園実習」担当者の所見を重視する。
関連科目	博物館学芸員関連科目
教科書	新時代の博物館学 / 全国大学博物館学講座協議会西日本部会編 / 芙蓉書房出版 / ISBN9784829505519
参考書	講義中、適宜、指示する。
連絡先	徳澤啓一研究室（D2号館4階） 高橋亮雄研究室（B2号館1階） curator_ous@outlook.jp
注意・備考	履修制限科目。履修制限に関しては、『教職・博物館学芸員課程履修の手引き』を参照すること。止むを得ない事情で欠席する場合は、正当な事由を明記し、これを証する者が記名・押印した文書を事前に提出すること。講義資料は講義開始時に配布するものとMomo-campus で配布するものがある。なお、特別な事情がない限り、前者は、後日の配布、後者は、ダウンロード期間

	終了後の配布には応じない。講義中の録音/録画/撮影は原則認めない。特別の理由ある場合事前に相談すること。講義中に課した提出課題に関しては、博物館学芸員関連科目の中の適切な単元においてフィードバックを行う。
試験実施	実施しない

科目名	博物館実習 (FD00Z410)
英文科目名	Museum Work Training II
担当教員名	徳澤啓一(とくさわけいいち), 高橋亮雄(たかはしあきお)
対象学年	4年
開講学期	通期
曜日時限	集中講義 その他
対象クラス	理学部, バイオ・応用化学科, 機械システム工学科, 電気電子システム学科, 情報工学科, 知能機械工学科, 生体医工学科, 建築学科, 生命医療工学科, 総合情報学部, 生物地球学部, 教育学部, 経営学部
単位数	2.0
授業形態	実験実習

回数	授業内容
1回	実務実習(1) 館種に応じた専門的・技術的な実務に関するものを行う。 (全教員)
2回	実務実習(2) 館種に応じた専門的・技術的な実務に関するものを行う。 (全教員)
3回	実務実習(3) 館種に応じた専門的・技術的な実務に関するものを行う。 (全教員)
4回	実務実習(4) 館種に応じた専門的・技術的な実務に関するものを行う。 (全教員)
5回	実務実習(5) 館種に応じた専門的・技術的な実務に関するものを行う。 (全教員)
6回	実務実習(6) 館種に応じた専門的・技術的な実務に関するものを行う。 (全教員)
7回	実務実習(7) 館種に応じた専門的・技術的な実務に関するものを行う。 (全教員)
8回	実務実習(8) 館種に応じた専門的・技術的な実務に関するものを行う。 (全教員)
9回	実務実習(9) 館種に応じた専門的・技術的な実務に関するものを行う。 (全教員)
10回	実務実習(10) 館種に応じた専門的・技術的な実務に関するものを行う。 (全教員)
11回	館園実習(1) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。 (全教員)
12回	館園実習(2) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。 (全教員)
13回	館園実習(3) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。 (全教員)
14回	館園実習(4) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。 (全教員)
15回	館園実習(5) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。 (全教員)
16回	館園実習(6) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。 (全教員)
17回	館園実習(7) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。

	(全教員)
18回	館園実習(8) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。
	(全教員)
19回	館園実習(9) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。
	(全教員)
20回	館園実習(10) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。
	(全教員)
21回	館園実習(11) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。
	(全教員)
22回	館園実習(12) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。
	(全教員)
23回	館園実習(13) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。
	(全教員)
24回	館園実習(14) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。
	(全教員)
25回	館園実習(15) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。
	(全教員)
26回	館園実習(16) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。
	(全教員)
27回	館園実習(17) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。
	(全教員)
28回	館園実習(18) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。
	(全教員)
29回	館園実習(19) 学内外の館園等の現場における業務に関するものを行う。
	(全教員)
30回	総括：本講義の学習内容を復習しつつ、「博物館学芸員」の就職事情等の最新事情を講義する。
	(全教員)

回数	準備学習
1回	シラバスを確認し、授業内容を確認しておくこと(標準学習時間60分)。
2回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し(標準学習時間60分)、事前配付資料を読んでおくこと(標準学習時間120分)。
3回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し(標準学習時間60分)、事前配付資料を読んでおくこと(標準学習時間120分)。
4回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し(標準学習時間60分)、事前配付資料を読んでおくこと(標準学習時間120分)。
5回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し(標準学習時間60分)、事前配付資料を読んでおくこと(標準学習時間120分)。
6回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し(標準学習時間60分)、事前配付資料を読んでおくこと(標準学習時間120分)。
7回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し(標準学習時間60分)、事前配付資料を読んでおくこと(標準学習時間120分)。
8回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し(標準学習時間60分)、事前配付資料を読んでおくこと(標準学習時間120分)。
9回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し(標準学習時間60分)、事前配付資料を読んでおくこと(標準学習時間120分)。
10回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し(標準学習時間60分)、事前配付資料を読んでおくこと(標準学習時間120分)。

1 1 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
1 2 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
1 3 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
1 4 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
1 5 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
1 6 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
1 7 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
1 8 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
1 9 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
2 0 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
2 1 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
2 2 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
2 3 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
2 4 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
2 5 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
2 6 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
2 7 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
2 8 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
2 9 回	前回の実習内容を館園実習記録簿に記入し（標準学習時間60分）、派遣館園等の指導者からの課題を実施すること（標準学習時間120分）。
3 0 回	前回の実習内容を復習するとともに、これまでの実習内容を振り返り、疑問点等を整理しておくこと（標準学習時間180分）。

講義目的	見学を含む学内実習や館園実習での現場体験を通し、多様な館種の実態や学芸員の業務を理解し、実践的能力を養う。（教職・学芸員センター教育課程編成・実施の方針Mにもっとも強く関与）
達成目標	1．学内実習〔見学実習（多様な館種の実態理解）、実務実習（資料の取り扱い、展示、博物館運営等の実務習得）、事前・事後指導（実習全体の指導、館園実習に関する指導）〕 2．館園実習（博物館における実務体験）以上についての実習を行い、その理解を深める。
キーワード	授業内容に記載
成績評価（合格基準60	「館園実習簿」の記載（50%）及びレポート（50%）により成績を評価し、総計で60%以上を合格とする。なお、博物館学芸員課程の最終段階である「博物館実習」において、履修生は、外部の博物館で館園実習を行う。館園実習では、勤務態度及び来館者への接遇に関する資質が厳しく問われるため、本講義の可否に関しては、平素の受講態度に関する教員及び「館園実習」担当者の所見を重視する。
関連科目	博物館学芸員関連科目
教科書	新時代の博物館学 / 全国大学博物館学講座協議会西日本部会編 / 芙蓉書房出版 / ISBN9784829505519
参考書	講義中、適宜、指示する。
連絡先	徳澤啓一研究室（D2号館4階） 高橋亮雄研究室（B2号館1階） curator_ous@outlook.jp
注意・備考	止むを得ない事情で欠席する場合は、正当な事由を明記し、これを証する者が記名・押印した文書を事前に提出すること。また、講義時、参考資料を配付することがあるが、欠席者への事後配付は行わないので注意すること。
試験実施	実施しない

科目名	博物館展示論 (FD01Z310)
英文科目名	Museum Exhibition
担当教員名	乗岡実* (のりおかみのる*)
対象学年	3年
開講学期	春1
曜日時限	集中講義 その他
対象クラス	理学部 (~16), バイオ・応用化学科 (~16), 機械システム工学科 (~16), 電気電子システム学科 (~16), 情報工学科 (~16), 知能機械工学科 (~16), 生体医工学科 (~16), 建築学科 (~16), 生命医療工学科 (~16), 総合情報学部 (~16), 生物地球学部 (~16)
単位数	2.0
授業形態	講義

回数	授業内容
1回	オリエンテーション 講義の進め方を説明する。 [全教員]
2回	博物館展示の意義(1) / コミュニケーションとしての展示 [全教員]
3回	博物館展示の意義(2) / 調査研究の成果の提示 [全教員]
4回	博物館展示の意義(3) / 展示と展示論の歴史 [全教員]
5回	博物館展示の意義(4) / 展示と展示論の歴史 [全教員]
6回	博物館展示の意義(5) / 展示の政治性と社会性 [全教員]
7回	博物館展示の意義(6) / 展示の政治性と社会性 [全教員]
8回	博物館展示の意義(7) / 展示の諸形態 [全教員]
9回	博物館展示の意義(8) / 展示の製作 (企画、デザイン、技術、施工等) [全教員]
10回	博物館展示の意義(9) / 関係者との協力 (他館、所蔵者、専門業者等) [全教員]
11回	博物館展示の意義(10) / 展示の評価と改善・更新
12回	展示の解説活動(1) / 解説文・解説パネル
13回	展示の解説活動(2) / 人による解説、機器による解説
14回	展示の解説活動(3) / 展示解説書 (展示図録、パンフレット等)
15回	総括 / 本講義の学習内容を復習しつつ、博物館の展示に関する基礎的知識を獲得する [全教員]

回数	準備学習
1回	シラバス及び『教職・博物館学芸員課程履修の手引き』の該当部分を塾覧しておくこと (標準学習時間60分)。
2回	前回の講義内容を復習するとともに (標準学習時間60分)、今回の講義内容に該当する教科書の単元を読んでおくこと (標準学習時間120分)。
3回	前回の講義内容を復習するとともに (標準学習時間60分)、今回の講義内容に該当する教科書の単元を読んでおくこと (標準学習時間120分)。
4回	前回の講義内容を復習するとともに (標準学習時間60分)、今回の講義内容に該当する教科書の単元を読んでおくこと (標準学習時間120分)。
5回	前回の講義内容を復習するとともに (標準学習時間60分)、今回の講義内容に該当する教科書の単元を読んでおくこと (標準学習時間120分)。
6回	前回の講義内容を復習するとともに (標準学習時間60分)、今回の講義内容に該当する教科書の単元を読んでおくこと (標準学習時間120分)。
7回	前回の講義内容を復習するとともに (標準学習時間60分)、今回の講義内容に該当する教科書の単元を読んでおくこと (標準学習時間120分)。
8回	前回の講義内容を復習するとともに (標準学習時間60分)、今回の講義内容に該当する教科書の単元を読んでおくこと (標準学習時間120分)。
9回	前回の講義内容を復習するとともに (標準学習時間60分)、今回の講義内容に該当する教科書の単元を読んでおくこと (標準学習時間120分)。
10回	前回の講義内容を復習するとともに (標準学習時間60分)、今回の講義内容に該当する教科書の単元を読んでおくこと (標準学習時間120分)。
11回	前回の講義内容を復習するとともに (標準学習時間60分)、今回の講義内容に該当する教科書の単元を読んでおくこと (標準学習時間120分)。
12回	前回の講義内容を復習するとともに (標準学習時間60分)、今回の講義内容に該当する教科書の単元を読んでおくこと (標準学習時間120分)。
13回	前回の講義内容を復習するとともに (標準学習時間60分)、今回の講義内容に該当する教科書の単元を読んでおくこと (標準学習時間120分)。
14回	前回の講義内容を復習するとともに (標準学習時間60分)、今回の講義内容に該当する教科書の単元を読んでおくこと (標準学習時間120分)。
15回	前回の講義内容を復習するとともに、これまでの講義内容を振り返り、疑問点等を整理しておくこと (標準学習時間180分)。

講義目的	展示の歴史、展示メディア、展示による教育活動、展示の諸形態等に関する理論及び方法に関する知識・技術を習得し、博物館の展示機能に関する基礎的能力を養う。（教職・学芸員センター教育課程編成・実施の方針L-7にもっとも強く関与）
達成目標	1) 博物館展示の意義 コミュニケーションとしての展示、調査研究の成果の提示、展示と展示論の歴史、展示の政治性と社会性 2) 博物館展示の実際、展示の諸形態、展示の製作（企画、デザイン、技術、施工等）、関係者との協力（他館、所蔵者、専門業者等）、展示の評価と改善・更新 3) 展示の解説活動 解説文・解説パネル、人による解説、機器による解説、展示解説書（展示図録、パンフレット等） 以上の項目について、理解を深めることを目標とする。
キーワード	授業内容に記載。
成績評価（合格基準60	提出課題 40%、2回の小テスト 60%によって、成績を評価する。得点率 60%以上の場合は「合格」、60%未満は「不合格」とする。なお、博物館学芸員課程では、最終段階である「博物館実習」において、外部の博物館で「館園実習」を行うことになる。当然のことながら、「館園実習」では、勤務態度及び来館者への接遇に関する資質が厳しく問われることとなる。そのため、本講義の可否に関しては、平素の受講態度に関する教員所見を重視することになる。
関連科目	教養教育科目「考古学」及び「外国史」を履修することが望ましい。
教科書	新時代の博物館学 / 全国大学博物館学講座協議会西日本部会編 / 芙蓉書房出版 / ISBN9784829505519
参考書	講義中に適宜紹介する。
連絡先	D 2 号館 4 階徳澤研究室。 研究室の訪問に際しては、E-mail (curator_ous@outlook.jp) によって、事前に用件を簡潔に知らせること。その際、担当教員の都合を聞いた上で、指定された日時に訪問すること。
注意・備考	履修制限科目。履修制限に関しては、『教職・博物館学芸員課程履修の手引き』を参照すること。止むを得ない事情で欠席する場合は、正当な事由を明記し、これを証する者が記名・押印した文書を事前に提出すること。講義資料は講義開始時に配布するものとMomo-campus で配布するものがある。なお、特別な事情がない限り、前者は、後日の配布、後者は、ダウンロード期間終了後の配布には応じない。講義中の録音/録画/撮影は原則認めない。特別の理由ある場合事前に相談すること。講義中に課した提出課題に関しては、博物館学芸員関連科目の中の適切な単元においてフィードバックを行う。
試験実施	実施しない